

平成23年度の受章者

紫綬褒章

中尾 一和 (昭48年卒)
京都大学教授

春の叙勲

瑞宝中綬章

小西 與承 (昭34年卒)
元 国立姫路病院院長

吉田 修 (昭35年卒)
京都大学名誉教授

佐藤 暢 (教室会員 麻酔科)
鳥取大学名誉教授

山本 博之 (教室会員 薬理学)
元 和歌山県立医科大学長

医療の発展 貢献へ全力

西 祥太郎



芝蘭会副会長就任あいさつ

6月18日の総会、評議員会で、芝蘭会副会長に任ぜられました。

平成16年より、理事並びに京都支部長を務めておりましたが、高齢のため両方のお役を退任させていただきましたこととし、今回退任される武田隆男副会長の後任と京都支部長を昭和46年卒業の真鍋克次郎先生に引き継いでいただくことにしております。

6月5日の京都支部の全理事会で、真鍋先生は現在、京都私立病院協会の理事長を務めてご多忙とのこと、武田隆男先生のご助言もあって、

6月5日の京都支部の全理事会で、真鍋先生は現在、京都私立病院協会の理事長を務めてご多忙とのこと、武田隆男先生のご助言もあって、



第172号

発行所
一般社団法人 芝蘭会
京都大学医学部同窓会
〒606-8315
京都市左京区吉田近衛町
TEL 075-751-2713
FAX 075-752-4015
E-mail: info@shirankai.or.jp
http://www.shirankai.or.jp

主な内容

- ② 一色賞創設一色氏が第一回受賞
芝蘭会、一般社団法人に
校友会・KMS・FUNDだより
東日本大震災募金、引き続き協力を
西日本医科学生団体
支部だより 岐阜・阪神・京都
支部だより 三重
人事異動・会員訃報

あります。アンケートに

7議案を承認した芝蘭会総会・評議員会・理事会

事業報告など7議案承認 芝蘭会 総会・評議員会・理事会



基づいて具体的な方策を打ち出すためには、京都支部や近辺の理事、評議員の方々とプロジェクトチームを作り、事務局とともに協議し、理事、評議員会に提案してゆくのが良いのではないかと考えます。大学の独立行政法人化や研修医制度の変更など、小泉構造改革の助成や学生のクラブ活動への助成について、活発な議論の上、原案どおり承認され、議案(2)についても、原案どおり承認された。議案(3)については、副会長の武田隆男氏の辞任に伴い、後任に西祥太郎氏を副会長に選任し、また、真鍋克次郎氏(昭和46年卒)を理事に選任することが承認された。

また、一般社団法人への移行に伴い、定款に記載の理事の任期規定が変更になり、山岡義生氏、中安顕氏が一般社団法人への移行の登記の日をもって任期満了になるため、両名を一般社団法人への移行登記を条件に理事に選任することが承認された。

また、一般社団法人への移行に伴い、定款に記載の理事の任期規定が変更になり、平田温氏、折田雄一氏、高三秀成氏、中川正久氏、門田和紀氏、吉川暉氏、高橋晴雄氏、泰江弘文氏が一般社団法人への移行の登記の日をもって任期満了になるため、一般社団法人への移行登記を条件に評議員に選任することが承認された。

また、一般社団法人への移行に伴い、定款に記載の理事の任期規定が変更になり、平田温氏、折田雄一氏、高三秀成氏、中川正久氏、門田和紀氏、吉川暉氏、高橋晴雄氏、泰江弘文氏が一般社団法人への移行の登記の日をもって任期満了になるため、一般社団法人への移行登記を条件に評議員に選任することが承認された。

また、一般社団法人への移行に伴い、定款に記載の理事の任期規定が変更になり、平田温氏、折田雄一氏、高三秀成氏、中川正久氏、門田和紀氏、吉川暉氏、高橋晴雄氏、泰江弘文氏が一般社団法人への移行の登記の日をもって任期満了になるため、一般社団法人への移行登記を条件に評議員に選任することが承認された。

また、一般社団法人への移行に伴い、定款に記載の理事の任期規定が変更になり、平田温氏、折田雄一氏、高三秀成氏、中川正久氏、門田和紀氏、吉川暉氏、高橋晴雄氏、泰江弘文氏が一般社団法人への移行の登記の日をもって任期満了になるため、一般社団法人への移行登記を条件に評議員に選任することが承認された。

また、一般社団法人への移行に伴い、定款に記載の理事の任期規定が変更になり、平田温氏、折田雄一氏、高三秀成氏、中川正久氏、門田和紀氏、吉川暉氏、高橋晴雄氏、泰江弘文氏が一般社団法人への移行の登記の日をもって任期満了になるため、一般社団法人への移行登記を条件に評議員に選任することが承認された。

また、一般社団法人への移行に伴い、定款に記載の理事の任期規定が変更になり、平田温氏、折田雄一氏、高三秀成氏、中川正久氏、門田和紀氏、吉川暉氏、高橋晴雄氏、泰江弘文氏が一般社団法人への移行の登記の日をもって任期満了になるため、一般社団法人への移行登記を条件に評議員に選任することが承認された。

また、一般社団法人への移行に伴い、定款に記載の理事の任期規定が変更になり、平田温氏、折田雄一氏、高三秀成氏、中川正久氏、門田和紀氏、吉川暉氏、高橋晴雄氏、泰江弘文氏が一般社団法人への移行の登記の日をもって任期満了になるため、一般社団法人への移行登記を条件に評議員に選任することが承認された。

また、一般社団法人への移行に伴い、定款に記載の理事の任期規定が変更になり、平田温氏、折田雄一氏、高三秀成氏、中川正久氏、門田和紀氏、吉川暉氏、高橋晴雄氏、泰江弘文氏が一般社団法人への移行の登記の日をもって任期満了になるため、一般社団法人への移行登記を条件に評議員に選任することが承認された。

また、一般社団法人への移行に伴い、定款に記載の理事の任期規定が変更になり、平田温氏、折田雄一氏、高三秀成氏、中川正久氏、門田和紀氏、吉川暉氏、高橋晴雄氏、泰江弘文氏が一般社団法人への移行の登記の日をもって任期満了になるため、一般社団法人への移行登記を条件に評議員に選任することが承認された。

また、一般社団法人への移行に伴い、定款に記載の理事の任期規定が変更になり、平田温氏、折田雄一氏、高三秀成氏、中川正久氏、門田和紀氏、吉川暉氏、高橋晴雄氏、泰江弘文氏が一般社団法人への移行の登記の日をもって任期満了になるため、一般社団法人への移行登記を条件に評議員に選任することが承認された。

また、一般社団法人への移行に伴い、定款に記載の理事の任期規定が変更になり、平田温氏、折田雄一氏、高三秀成氏、中川正久氏、門田和紀氏、吉川暉氏、高橋晴雄氏、泰江弘文氏が一般社団法人への移行の登記の日をもって任期満了になるため、一般社団法人への移行登記を条件に評議員に選任することが承認された。

また、一般社団法人への移行に伴い、定款に記載の理事の任期規定が変更になり、平田温氏、折田雄一氏、高三秀成氏、中川正久氏、門田和紀氏、吉川暉氏、高橋晴雄氏、泰江弘文氏が一般社団法人への移行の登記の日をもって任期満了になるため、一般社団法人への移行登記を条件に評議員に選任することが承認された。

また、一般社団法人への移行に伴い、定款に記載の理事の任期規定が変更になり、平田温氏、折田雄一氏、高三秀成氏、中川正久氏、門田和紀氏、吉川暉氏、高橋晴雄氏、泰江弘文氏が一般社団法人への移行の登記の日をもって任期満了になるため、一般社団法人への移行登記を条件に評議員に選任することが承認された。

また、一般社団法人への移行に伴い、定款に記載の理事の任期規定が変更になり、平田温氏、折田雄一氏、高三秀成氏、中川正久氏、門田和紀氏、吉川暉氏、高橋晴雄氏、泰江弘文氏が一般社団法人への移行の登記の日をもって任期満了になるため、一般社団法人への移行登記を条件に評議員に選任することが承認された。

また、一般社団法人への移行に伴い、定款に記載の理事の任期規定が変更になり、平田温氏、折田雄一氏、高三秀成氏、中川正久氏、門田和紀氏、吉川暉氏、高橋晴雄氏、泰江弘文氏が一般社団法人への移行の登記の日をもって任期満了になるため、一般社団法人への移行登記を条件に評議員に選任することが承認された。

また、一般社団法人への移行に伴い、定款に記載の理事の任期規定が変更になり、平田温氏、折田雄一氏、高三秀成氏、中川正久氏、門田和紀氏、吉川暉氏、高橋晴雄氏、泰江弘文氏が一般社団法人への移行の登記の日をもって任期満了になるため、一般社団法人への移行登記を条件に評議員に選任することが承認された。

また、一般社団法人への移行に伴い、定款に記載の理事の任期規定が変更になり、平田温氏、折田雄一氏、高三秀成氏、中川正久氏、門田和紀氏、吉川暉氏、高橋晴雄氏、泰江弘文氏が一般社団法人への移行の登記の日をもって任期満了になるため、一般社団法人への移行登記を条件に評議員に選任することが承認された。

また、一般社団法人への移行に伴い、定款に記載の理事の任期規定が変更になり、平田温氏、折田雄一氏、高三秀成氏、中川正久氏、門田和紀氏、吉川暉氏、高橋晴雄氏、泰江弘文氏が一般社団法人への移行の登記の日をもって任期満了になるため、一般社団法人への移行登記を条件に評議員に選任することが承認された。

また、一般社団法人への移行に伴い、定款に記載の理事の任期規定が変更になり、平田温氏、折田雄一氏、高三秀成氏、中川正久氏、門田和紀氏、吉川暉氏、高橋晴雄氏、泰江弘文氏が一般社団法人への移行の登記の日をもって任期満了になるため、一般社団法人への移行登記を条件に評議員に選任することが承認された。

また、一般社団法人への移行に伴い、定款に記載の理事の任期規定が変更になり、平田温氏、折田雄一氏、高三秀成氏、中川正久氏、門田和紀氏、吉川暉氏、高橋晴雄氏、泰江弘文氏が一般社団法人への移行の登記の日をもって任期満了になるため、一般社団法人への移行登記を条件に評議員に選任することが承認された。

また、一般社団法人への移行に伴い、定款に記載の理事の任期規定が変更になり、平田温氏、折田雄一氏、高三秀成氏、中川正久氏、門田和紀氏、吉川暉氏、高橋晴雄氏、泰江弘文氏が一般社団法人への移行の登記の日をもって任期満了になるため、一般社団法人への移行登記を条件に評議員に選任することが承認された。

先端医療機器開発・臨床研究センター

盛大にオープン祝う

記念式典

京都大学医学部附属病院では、医療機器の臨床

研究から薬事申請までの一連の流れを迅速かつ適正に実施し、わが国における医療機器開発のボトルネックである臨床研究に重点的に取り組む本格的な産学連携拠点となる「先端医療機器開発・臨床研究センター」の完成を記念して、6月29日に竣工記念式典を開催しました。学内外から約100名が出席し、盛大にオープンを祝いました。



先端医療機器開発・臨床研究センター外観



テープカットする(左から)三嶋病院長、塩田理事、永塚近畿経済産業局長、松本総長、内田キヤノン(株)代表取締役社長、門川京都市長、湊医学研究科長

今回完成した「先端医療機器開発・臨床研究セ

ンストールと各研究室、4階と2階に設置されたリフレッシュコーナーや地下の撮影室などを熱心に見学しました。

参加者は、カンファレ

学部の百周年記念施設「芝蘭会館・稲盛ホール」で

ターとなる人材の育成も目指していきます」と式辞があり、次に、松本総長が、「ご寄附をいただいたキヤノン株式会

また、記念式典後には、祝賀会が開催され、出席者らは、今後の医療発展やセンターが担う医療機器開発について語り合いました。

また、記念式典後には、祝賀会が開催され、出席者らは、今後の医療発展やセンターが担う医療機器開発について語り合いました。

また、記念式典後には、祝賀会が開催され、出席者らは、今後の医療発展やセンターが担う医療機器開発について語り合いました。

また、記念式典後には、祝賀会が開催され、出席者らは、今後の医療発展やセンターが担う医療機器開発について語り合いました。

また、記念式典後には、祝賀会が開催され、出席者らは、今後の医療発展やセンターが担う医療機器開発について語り合いました。

2011年6月20日、ロンドンで行われた最先端喉頭科学会2011 (Cutting Edge Laryngology Conference 2011) において、同会を主催した英国王立外科医協会 (Royal College of Surgeons of England [RCS]) は、喉頭の卓越した研究に対し賞を授与することとし、前世紀後半における喉頭枠組み手術の及ぼした影響の大きさにより、その賞の名前を一色賞 (The Ishiki Award) とするとし、第一回はその命名にちなみ、一色信彦氏

英国王立外科医協会が「一色賞」創設 命名にちなみ一色氏受賞 咽頭枠組み手術に貢献



一色信彦氏

（昭和29年卒、京都大学名誉教授）ご本人が受賞された。
なお、同学会で一色氏は、従来きわめて難治し、不治といわれてきた癌性性発声障害に対し、一色氏の開発した甲狀軟骨形成術2型で、恒久的治癒が得られることを、多くの音声サンプルを用いて45分間の特別講演を行った。

iPS細胞・再生医学研究会 150人、熱心に講演聴く

7月1日（金）に、京大病院iPS細胞・再生医学研究会が芝蘭会館にて開催されました。同研究会は、当院におけるiPS細胞、ES細胞及び



開会挨拶を行う三嶋病院長



高橋先生による特別講演

のです。第4回目となる今回の研究会では、学内外から150名余りの参加がありました。
研究会では、三嶋理晃院長の開会挨拶の後、中島秀典先生（アステラス製薬分子医学研究所・ス製薬分子医学研究所・秋山治彦先生（京大病院）より「再生整形外科産官学連携推進教授」より「Societyによる幹細胞の同定と軟骨再生」について、星野勇馬先生（京大病院呼吸器内科助教）より「疾患特異的iPSを用いた難治性呼吸器疾患の病態解明」について、平家俊男先生（京大病院小児科教授）より「京大病院におけるiPS細胞医学」iPS細胞診療部の立ち上げを踏まえて」について一般講演が行われました。引き続き、高橋政代先生（理化学研究所発生・再生科学総合研究センター・網膜再生医療研究チームリーダー）より「iPS細胞の網膜変性疾患への応用」について特別講演が行われました。

芝蘭会、一般社団法人に 府知事の認可を受ける

平成18年度の公益法人制度改革関連法の成立に伴い、芝蘭会は、平成20年4月から新しい社団法人へ移行するための検討を重ねてまいりましたが、このたび、京都府知事による認可を受け、平成23年9月1日付で一般社団法人への移行登記を完了しましたので、その経緯について、会員の皆様にご報告いたします。

1. 総会・評議員会・理事会での検討
平成20年4月5日（土）開催の評議員会・理事会では、新公益法人制度の機関設計、会計制度等について検討を行い、公益社団法人として認定申請を行う方向で準備を進めることが、了承されましたが、その後の総会・評議員会・理事会等では、一般社団法人と公益社団法人のメリット・デメリットを比較し、

特例民法法人から一般社団法人への移行に伴う変更点			平成23年9月1日
項 目	現 行	変 更 後	
1. 名称の変更（定款第1条）	社団法人 芝蘭会	一般社団法人 芝蘭会	
2. 法人の目的（定款第4条）		新しい定款では、第4条の法人の目的に、「会員相互の親睦を図り、会員の協力のもとに」、「国民の健康と福祉の向上」に寄与する、との文言を加えた。	
3. 法人の事業（定款第5条）		平成14年から、産学交流部を設置して行ってきた産学交流事業を定款上に「医学領域における産学連携推進事業」と明記した。	
4. 代議員制の導入（定款第6条）		平成20年12月1日に施行された一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下、「法人法」という。）では、社団法人の総会の定足数を過半数としているため（法人法49条1項）、学会などと同様に代議員制を導入し、会員数の2%に当たる110名を社員として、総会を開催することとした。	
5. 総会（定款第12条～20条）			
(1) 審議事項	事業計画及び収支予算 事業報告及び収支決算 財産目録	会員の除名 理事及び監事の選任・解任 貸借対照表及び損益計算書の承認 定款の変更 解散及び残余財産の処分	
(2) 総会の開催時期	会計年度終了後2カ月以内	事業年度終了後3カ月以内	
(3) 招集	10日前に書面又は機関誌	理事会の決議に基づき会長が招集	
(4) 定足数	会員現在数の10分の1	社員の過半数	
(5) 議事録作成	議長及び出席者2名の署名なつ印	議長及び出席理事2名の記名押印	
6. 役員の選任（定款第22条）			
(1) 会長・副会長、理事	会員の中から総会で選任	理事の中から理事会で選任	
(2) 会長・副会長以外の理事	評議員会で選任	総会で選任	
(3) 監事	評議員会で選任	総会で選任	
7. 役員の任期（定款第25条）	理事、監事 3年	理事は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時総会の終結の時までとし、再任を妨げない。 監事は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時総会の終結の時までとし、再任を妨げない。	
8. 評議員の選任（定款第28条）	総会で選任	総会で選任	
9. 評議員の任期（定款第28条）	3年	2年	
10. 理事会			
(1) 権 限（定款第32条）		(新設) 業務執行の決定 理事の職務執行の監督 会長、副会長及び常務理事の選定及び解職	
(2) 定足数と議決数（定款第34条） 定足数 議決数	2分の1 委任状は可 3分の2	2分の1 委任状は不可 2分の1	
(3) 議事録	議長及び出席者2名が署名なつ印	出席した会長及び監事の記名押印	
11. 資産の管理運用（定款第41条）	現行規定は第40条から第49条まで資産・運用の管理に関する条項を設けていた。	新しい定款では、「財産管理運用規則」に定めることとする（定款第41条）とともに、事業年度を新たに定めた（定款第42条）。	
12. 事業計画及び収支予算（定款第44条）	総会の承認 文部大臣報告	理事会の承認	
13. 事業報告及び決算（定款第45条）	総会の承認 文部大臣報告	事業報告は理事会の承認 貸借対照表と正味財産増減計算書は、総会の承認	
14. 公告（定款第50条）		新しい制度では、公告をすることとなり、電子公告によることとした。	

医学部学生会館を見学する会員ら



ことができました。本
104万円の寄附を行
ことができ、日本赤
十字社に
医学部医学科6回生
医学部バドミントン
部所属
中村聡宏

1万人 鍛えた力発揮

大阪で西日本医科学生総体

水泳男子200自 武井、健闘の「銅」

一般社団法人芝蘭会は、医学研究科の東日本大震災支援活動と連携を図り、「京都大学医学研究科東日本大震災基金」を支援するため募金活動を行って来ました。「医学研究科東日本大震災基金」は医学研究科の教職員を被災地へ派遣する経費や教職員がボランティア活動を行

東日本大震災支援

募金、引き続き協力を

うに必要な経費の一部を助成することを目的として、京都大学医学研究科に設置され、教職員に1口5千円の募金を呼びかけているものです。このうち、今年8月12日には600万円を医学研究科東日本大震災支援基金に寄附いたしましたところ。0990・7・209266

募金には、すでに会員の方から548件、755万円の募金が寄せられております。(9月7日現在)

この東日本大震災支援募金は引き続き、継続して行う予定ですので、会員の皆さまのご協力よろしく願います。

募金振込先
ゆうちょ銀行
0990・7・209266

社団法人芝蘭会東日本大震災支援募金 あて
(他の金融機関からの振込用口座番号)
〇九九(ゼロキユウキユウ)店(099) 当座 0209266
(募金には、7月に送付いたしました郵便振替用紙をご利用ください)

もと、大阪プールで行われました。キャプテン畑野によるかけ声のもと、部員全員で円陣を組み、今年の西医学体は始まりました。女子400m自由形タイム決勝では、阪上が残念ながらベストタイムではないものの、しっかり勝負強さを見せて4位で表彰台にのぼり、水泳部全体を盛り上げました。男子800m自由形タイム決勝は、山田が7位に入りました。男子100m自由形決勝では、武井が惜しくも表彰台を逃がしましたが、6年間の水泳部を支えてくださったエースとしてのすばらしい泳ぎで、観客席を熱くさせてくださいました。男子200m個人メドレー決勝では、宗宮が最後の自由形での鬼の追い上げもあり、6位でしっかりと得点をとりました。男子400mメドレーリレー決勝は、前田のベスト更新などで7位に入り、一日目を終えました。

第六十三回西日本医科学生総合体育大会は、大阪医科大学が代表主幹校を務め、全国から集った44大学が優勝を目指し覇を争いました。一万人を超える学生たちが日頃の成果を十分に発揮しあい大会を盛り上げる中、京都大学も昨年度に劣らぬ健闘をみせ、一年に一度の大舞台に華を咲かせました。

【水泳部】
2011年度の西医学体は大阪医科大学の主管の

第63回西日本医科学生総合体育大会試合結果

【準硬式野球部】

一回戦 京都5-0大分
二回戦 京都3-4滋賀医科 (延長11回)

【サッカー部】

一回戦 京都2-1愛媛
二回戦 京都2-1九州
三回戦 京都0-2大阪医科
ベスト16

【硬式テニス部】

男子 二回戦敗退
女子 一回戦敗退

【ソフトテニス部】

男子団体 ベスト8
女子団体 準優勝、全医体3位

【バスケットボール男子部】

一回戦敗退

【バスケットボール女子部】

二回戦 京都63-24 金沢医科
三回戦 京都47-46 熊本

4回戦 京都41-76 佐賀
ベスト8

【バレーボール部】

2回戦 京都2-0兵庫医科
3回戦 京都2-1大阪
準々決勝 京都2-0神戸
準決勝 京都1-2愛媛
3位決定戦 京都0-2産業医科大
4位

【バドミントン部】

男子ダブルス 第3位 (中村聡宏・西脇修司)
女子シングルス ベスト16 (酒巻春日)

【ボート部】

一般男子舵手付きフォア「芝蘭」第3位
一般男子ダブルスカル「昂流」優勝、
「紅翔」第5位
新人男子舵手付きフォア 第11位
総合 第3位

【弓道部】

男子団体戦 44中 / 120射

【ヨット部】

スナイプ級 3位
470級 16位
総合 10位

【水泳部】

男子総合 12位
女子総合 18位

【ハンドボール部】

予選リーグ戦
京都20-20 奈良県立医科
京都23-15 産業医科
京都14-25 浜松医科
4チーム中2位
他リーグ2位との得失点差勝負で敗退

【ラグビー部】

一回戦 京都25-17 川崎医科
二回戦 京都7-17 大阪医科
ベスト16

100mストローク種目(自由形以外の泳法のこと)の強化を図られ全員が自己ベストを更新できました。続いての男子200mフリーリレーでは、阪原・伊東・中嶋・宗宮で泳いで一番遅かった人が決勝で部内最速の武井と代わるという方式をとりましたが、4人ともかなり速く、タイムもほぼ一緒で非常におもしろいレースでした。この日は決勝進出が多く、ど

れも見どころの多い試合ばかりでしたが、特に武井の最後に競り勝つての3位銅メダルや前田の勝てる人には全員勝つての5位などが感動的でした。200mフリーリレー決勝は武井・阪原・中嶋・宗宮の順で泳いで8

位をとり、暖かい声援を受けていました。3日目も応援で声のかれきったキャプテンを囲んでの声出しが始まりました。最終日ということもあり部員の気合も十分でした。決勝では、男子400m自由形に山田、

男子1000m平泳ぎに前田が出場しましたが、山田は7位に食い込み、前田は予選からさらに1秒縮め、ベストを更新しました。いよいよ大会も佳境にさしかかり、女子は400mフリーリレーで6回生の神崎から若本へ

のリレーの引き継ぎがあり、男子では800mフリーリレーで白石・福永・佐々木・畑の6回生で泳ぎ、大歓声に包まれていました。また最終組では阪原・伊東・植木・武井が泳ぎ、4位での表彰台となりました。6回生の植木、武井が最後のレースを終え、最後に僕たちを熱くさせる試合をみせてくれたリレーメンバーに、賞賛の拍手が鳴り止みませんでした。

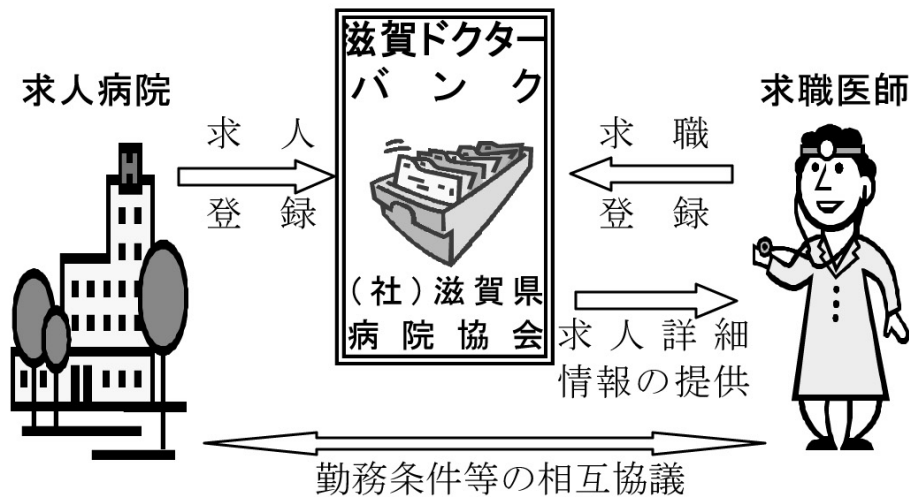
東日本大震災の支援活動状況

- 医学部 法医学講座助教 小谷 泰一
3月23日～3月27日 宮古市
用務内容：東日本大震災に伴う死体検案
- 医学研究科 人間健康科学科 安寧の都市ユニット 特定准教授 三谷 智子
3月20日～3月26日 南三陸町
用務内容：東日本大震災の被災者の救援活動を行うとともに、担当教科(災害医療基礎論)に関して災害疫学、災害医療の現場でのヒアリングを行い、来年度の授業の参考にする知見を収集
- 保健学科看護学専攻 4回生 石井 和樹
5月5日～5月9日
用務内容：個人ボランティア
- 医学科 5回生 河野 伸次
5月8日～5月15日
用務内容：個人ボランティア
- 医学専攻 博士2回生(当時) 宮尾 昌
3月20日～3月27日
用務内容：個人ボランティア
- 医学専攻 博士1回生(当時) 垣本 由布
3月20日～3月27日
用務内容：個人ボランティア
- 社会健康医学系専攻 1回生 安田 咲こ
7月15日～7月18日
用務内容：個人ボランティア

被災地で、これまで支援活動を行った京都大学医学部の教職員や学生は左記の皆さんです。

滋賀ドクターBANK

滋賀ドクターBANKは、滋賀県内の病院勤務をご希望されるドクターの希望病院探しをお手伝いいたします！



詳細は **滋賀ドクターBANK** で検索

まずは、下記までお電話・ファックスを！

社団法人 滋賀県病院協会

〒520-0044 滋賀県大津市京町四丁目3-28

(滋賀県厚生会館内)

TEL: 077-525-7525 FAX: 077-525-5859

新治療法学ぶ

陳和夫教授講演

記念撮影する岐阜支部総会出席者

康影響と安全管理―福島原子力発電所の事故を中心に―という演題で講演をされました。講演では、最近の関心事である原子力についての話でした。まず放射能・放射線について概説され、次に放射線の健康影響を確定的影響（組織損傷）と確率的影響とに分けて説明されました。

さらに、福島原子力発電所の状況について話さ

名称 阪神支部に改める
旧 尼崎支部

という問題があります。

A fの原因は肺静脈に入り込んだ心房筋線維からの異常発火であることが多く、最近の治療法として、これを焼灼して電

Ⅰ型は免疫が低下した宿主に感染することのでき起こり、潜伏は4～5日と短く、痒みも不定で、寄生数が100万～200万と多く、感染力が非常に強いのが特徴です。疥癬が問題となるのは、もしそれがノルウエ

いてです。尼崎病院は第2種感染症指定医療機関に指定されており、感染症病床8床による2類感染症患者等の医療を担当しています。入室者は新型インフルエンザと結核が多く、経口生ワクチンで発症したポリオの患者

院との統合後の新病院において、妊婦や小児への感染予防が重要な課題であるとのことでした。そして藤原先生のご紹介のもと、京都大学医学部附属病院感染制御部部長の 一山智先生より特別講演をいただきました。

レイクを未然に防ぐ上で重要とのことでした。また、感染制御部（ICT）が病院内で機能するためには、ICTの担当医・担当ナースとリンクドクター・リンクナースとの連携が非常に重要とのことでした。

科横断的介入が可能になり、院内感染の防止につながるとのことでした。さらに、京大病院での腐敗水注射事件を見破るきっかけとなったインシデントレポートの重要性にも言及しこれは患者安全の確保

り、とても勉強になりました。会を終えたあと二次会にも連れて行ってくださり、取材のみならず個人的にも非常に充実した一日を過ごすごことができました。この場をお借りして感謝申し上げます。あり

伴うリスクを正確に把握できていなかった(把握しようとしなかった)現代の風潮が問題であることや放射線は多くの人の命を救ってきた有用な光であり正しく理解し、正しく使うことが大切だということを

綿谷茂樹先生の司会のもと、はじめに芝蘭会阪神支部総会が行われました。支部構成員の所在が阪神地区全体に及んでいる実情を踏まえ、これまで尼崎支部となっていた名称を阪神支部と改めるとともに、構成員を京都大学医学部の卒業生だけに

続いて座長の永井博之先生からのご紹介を受け、今回は三人もの先生方が講演をしてくださいました。

一つ目の演題は安本均先生による「心房細動を如何に治療するか」です。A-fは進行性の疾患で、発作を繰り返すうちに心

氣的に離断するカテーテルアブレーション治療が挙げられます。この治療は発作性・持続性いづれにも有効で根治することができ、また慢性であったも基礎疾患がなく、慢性の期間が短い例には適応となるということです。

Ⅰ型であった場合、医療者を通じて感染が病院内に広がる点です。また、疥癬は湿疹やアトピーに似ていて皮膚科もよく誤診し、ステロイドを誤って処方されることで症状が悪化するケースが多い点も、感染が広がる一因となっています。疥癬へ

もまれにみられます。感染症病床の問題点はいくつかあり、この8床のための看護単位が存在しないこと、病床がナースステーションから離れていること、プライバシーへの配慮で室内のモニタリングができないことなどが挙げられます。こうしたきましました。演題は「みんなで取り組む感染対策と医療安全」です。京大病院でMDRPの集団感染が発生した苦い過去を振り返り、アウトブレイクの原因は水周りや蓄尿器、汚物処理室、椅子などの汚染にあるとのことでした。

マ、詳しく
教授が講演



ICTが介入しようと
しても現場の医療者か
事象の共有、隠蔽がな
ったという透明性の確

田生牛

がとうございました。
(文責・5回生 勝島將夫)

げ、会務報告、会計報告、芝蘭会本部報告、議事と会は進みました。議事では役員人事、規約の変更などが承認され、支部長が西祥太郎先生から真鍋克次郎先生に引き継

強調されており、マスコミなどの報道の仕方や行政判断など国民に対してとても影響力のあることなので慎重に対応してもらいたいと感じました。

講演終了後、芝蘭会館山内ホールにて懇談会が開かれ、懇談会は

は快く受け入れ、より精力的に活動していきたいとのことでした。また、県立尼崎病院・塚口病院の統合について、支部長である藤原久義先生よりご説明をいただきました。阪神地区の医療の課

二つ目の演題は田邊洋先生による「疥癬について」です。疥癬の原因は人を終生宿主とするヒゼンダニで、通常型疥癬とノルウエー型疥癬があります。通常型は1〜2カ月の潜伏期間を経て頭部以外に皮疹が出現し、掻

の対応で重要なのは、通常型かノルウエー型かを判別して不用意にパニツクを起こさないよう努めることと、もしノルウエー型であった場合は、医療者も含め全員に予防的に投薬することである、とのことでした。

た看護体制の問題のほか、感染症の専門医が少ないことや、若手に比べ中堅以上の医師が感染症に関心が薄いこと、感染症診療科が独立している病院自体が少ないことなど、さまざまな問題を抱えています。今後の課題

平 成 23 年

郎 先生の司会のもと、



司会の高橋千太郎

放射線テーマ、詳しく 高橋千太郎教授が講演



司会の真鍋先生

平成23年
7月3日

平 成 23 年
7 月 3 日

【京都】

芝蘭会館にて芝
蘭会京都支部総会が開
(日)、
催されました。真鍋克次
郎先生の司会のもと、支
部長である西祥太郎先
生による挨拶から会が
始まり、その後、物故会
員の先生への黙祷を捧

管理工学研究分野教授
（兼任は農学研究科地域
環境科学専攻放射線管
理学講座）である高橋千
太郎先生が「放射線の健
史」

史(文責.. 2回生 鶴田将

必要な幅広い知識・教養 先生方の話聞き痛感



記念撮影する三重支部総会出席者
(7月17日・ホテルプラザ洞津)

支部だより

【三重】 平成23年7月17日(日)、三重県プラザ洞津にて芝蘭会三重支部総会が開催されました。

会は支部長である冨本秀和先生のあいさつから始まりました。その後、会員状況の報告、決算について、評議会についてと順次会は進んでいきました。

続いて学術講演会が行われました。第一部は三重大学大学院医学系研究科神経再生医学教授溝口明先生が、「中枢神経シナプス回路形成の基盤となる分子機構」という議題で講演をなさいました。講演のなかで平岡真寛先生は、阪神大震災の際、チームを作った無料で診察をした経験を通じて感じたこととして、良い医師とは患者の病気の本质を見極め最も正確に速く気持ちよく治せる人で、患者の中に真実を発

行われました。会は終始和やかな雰囲気、先生方はわれわれ学生にも気さくに接してくださいました。懇親会中には、先生方の自己紹介や近況報告が行われ、われわれ学生も簡単な自己紹介をさせていただきました。さまざまな話を聞くにつれ、先生方が医学のみならず幅広い知識・教養を備えていらっしゃることに感服し、自分はまだ未熟であることを痛感しました。

最後になりましたが、このような貴重な会に参加する機会をいただいたことに感謝の意をもって、支部会の報告を終わらせていただきます。
(文責：2回生 森山太陽)

【ご注意】

最近、芝蘭会員の方々へ芝蘭会員または京大医学部事務職員の名前をかたつて、個人情報(住所、電話番号等)を聞き出そうとする不審な問い合わせの電話があるというのを会員の方からご連絡をいただいております。芝蘭会とは全く関係がございませんので、くれぐれもご注意ください。よろしくお願いいたします。

なお、芝蘭会では会員の方から住所変更等のご連絡がない限り、事務局からはお問い合わせはいたしておりません。ご不審なことがありましたら、芝蘭会事務局までご連絡ください。

芝蘭会事務局

TEL 075-751-2713
FAX 075-752-4015

芝蘭会費納入は 自動振替で

平成17年度より芝蘭会費の納入方法として、「銀行口座等からの自動引落とし」を採用させていただいております。会費納入のお手間が大幅に省かれ、また、会費の二重払いの防止にも繋がります。ぜひ、ご利用いただきたくお願い申し上げます。

手続き等については、
芝蘭会事務局
(TEL 075-751-2713)
までお問い合わせください。

69回・2010(平成22)年版

芝蘭会会員名簿

平成22年12月に発行いたしました会員名簿は若干残っています。会員名簿をご希望の方は、芝蘭会事務局(075-751-2713)までお問い合わせください。

なお、次回名簿刊行は平成24年12月を予定しております。

会員名簿：A4判、890頁
会員頒布代：一部5,250円(消費税を含む)
(但し、会費納入者に限る。その他は10,500円)
送料：700円

人 事 異 動

発令年月日	氏 名	異動内容
H23.5.1	深尾憲二郎	昇任 病院助教より 脳病態生理学講座精神医学分野講師へ
H23.5.1	高橋 英彦	昇任 脳病態生理学精神医学講師より 同准教授へ
H23.5.1	大村浩一郎	昇任 病院助教より 内科学臨床免疫学講師へ
H23.6.1	川口 義弥	昇任(配置換) 外科学肝胆脾・移植外科講師より iPS細胞研究所教授へ
H23.6.1	松村 由美	昇任(配置換) 皮膚生命科学皮膚科学講師より 病院検査部准教授へ
H23.7.1	野村 尚史	昇任 病院助教より 皮膚生命科学皮膚科学講師へ
H23.7.1	佐藤 史顕	採用 附属病院研究員より 寄附講座(標的治療腫瘍学講座)特定講師へ

発令年月日	氏 名	異動内容
H23.7.31	清川 悦子	辞職 基礎病態学病態生物医学講師より 金沢医科大学教授へ
H23.7.31	黄 政龍	辞職 器官外科学呼吸器外科学准教授より 北野病院呼吸器外科部長へ
H23.8.1	板東 徹	採用 特定准教授より 器官外科学呼吸器外科学准教授へ
H23.8.1	河合 勝也	昇任 感覚運動系外科学形成外科学講師より 同准教授へ
H23.8.1	高木 康志	昇任 脳病態生理学脳神経外科学講師より 同准教授へ
H23.8.1	佐治 重衡	採用 埼玉医科大学准教授より 寄附講座(標的治療腫瘍学講座)特定准教授へ
H23.8.1	中屋百合恵	採用 産官学連携本部特定研究員より メディカルイノベーションセンター特定講師へ

会 員 訃 報 (敬称略)

謹んでご冥福をお祈りいたします。

榎本 憲二 (昭和13年卒) 平成23年2月15日 ご逝去
安岡 隆一 (昭和14年卒) 平成23年1月17日 ご逝去
田村 政司 (昭和17年卒) 平成23年1月28日 ご逝去
琢磨 照夫 (昭和19年卒) 平成22年10月27日 ご逝去
玉木 忠男 (昭和19年卒) 平成22年8月9日 ご逝去
中川 洋 (昭和19年卒) 平成22年8月5日 ご逝去
藪野 重一 (昭和19年卒) 平成23年5月20日 ご逝去
池田 清美 (昭和19年卒) 平成23年5月19日 ご逝去
久岡 裕展 (昭和20年卒) 平成23年4月12日 ご逝去
渡辺 修 (昭和20年卒) 平成20年10月1日 ご逝去
金川 一彦 (昭和21年卒) 平成22年9月1日 ご逝去
菅原 保 (昭和21年卒) 平成23年4月17日 ご逝去
山田 保 (昭和21年卒) 平成23年5月 日 ご逝去
六本木明久 (昭和21年卒) 平成23年4月16日 ご逝去
和田 穆 (昭和21年卒) 平成22年11月5日 ご逝去
池田 安弘 (昭和22年卒) 平成23年5月11日 ご逝去
岡田 安弘 (昭和22年卒) 平成23年3月1日 ご逝去
加藤 治秀 (昭和22年卒) 平成23年7月21日 ご逝去
佐野 猶則 (昭和22年卒) 平成23年3月5日 ご逝去

青木 秀夫 (昭和23年卒) 平成23年4月25日 ご逝去
木原 康彦 (昭和23年卒) 平成23年3月22日 ご逝去
天野 有恒 (昭和23年卒) 平成22年12月20日 ご逝去
笠井 皓三 (昭和24年卒) 平成23年7月19日 ご逝去
堀 照太良 (昭和24年卒) 平成20年11月18日 ご逝去
高野 忠義 (昭和24年卒) 平成23年5月27日 ご逝去
須川 勇 (昭和25年卒) 平成23年2月3日 ご逝去
養和田卓郎 (昭和25年卒) 平成23年3月11日 ご逝去
都倉 一郎 (昭和25年卒) 平成23年7月14日 ご逝去
松田 武一 (昭和25年卒) 平成23年7月17日 ご逝去
足立 和保 (昭和26年卒) 平成23年6月12日 ご逝去
青木 幸平 (昭和27年卒) 平成23年4月1日 ご逝去
三田村 穰 (昭和27年卒) 平成23年7月18日 ご逝去
浅越 泰助 (昭和28年卒) 平成23年5月9日 ご逝去
樋口 秀雄 (昭和28年卒) 平成22年12月23日 ご逝去
町田勝之輔 (昭和28年卒) 平成23年1月10日 ご逝去
佐藤 章 (昭和29年卒) 平成23年4月30日 ご逝去
池田 一郎 (昭和30年卒) 平成23年6月8日 ご逝去
岡田 明 (昭和30年卒)

多田 寛 (昭和31年卒) 平成23年5月16日 ご逝去
小島 豊 (昭和33年卒) 平成23年5月13日 ご逝去
安井 浩 (昭和33年卒) 平成23年2月27日 ご逝去
安西 隆 (昭和35年卒) 平成23年3月22日 ご逝去
小池 靖夫 (昭和35年卒) 平成22年12月25日 ご逝去
山田 伸彦 (昭和37年卒) 平成23年3月22日 ご逝去
伊藤 元彦 (昭和38年卒) 平成23年3月6日 ご逝去
大石 雅巳 (昭和40年卒) 平成23年5月18日 ご逝去
榎本 龍喜 (昭和41年卒) 平成23年5月26日 ご逝去
高島 昭佳 (昭和43年卒) 平成23年4月28日 ご逝去
光森 通英 (昭和60年卒) 平成22年8月10日 ご逝去
今村 吉之 (教室会員 解剖2) 平成23年7月22日 ご逝去
横田 亨 (教室会員 解剖2) 平成23年3月10日 ご逝去
加藤善一郎 (教室会員 公衆衛生) 平成23年3月22日 ご逝去
内野 碩 (教室会員 内科2) 平成20年12月 日 ご逝去
岡上 節子 (教室会員 内科3) 平成23年3月8日 ご逝去
田村 武美 (教室会員 産婦人科) 平成23年8月15日 ご逝去
上村 祐子 (教室会員 平成19年研修医)

原 稿 募 集

芝蘭会報は、会員の皆様の情報交換・意見発表の場です。支部活動、クラス会、会員の著書の紹介(自薦・他薦)及び医学・医療等に関するご意見等を寄稿ください。なお、原稿の採用及び掲載時期については、編集委員会で決めさせていただきます。

芝蘭会報 編集委員会

●事務局から●

平成17年4月からの「個人情報保護法」の全面施行により、個人情報の取扱いに厳しい制約が課せられました。つきましては会員の連絡先等のお問い合わせは、必要理由等を明記の上、郵便またはFAXにより事務局までご送付ください。電話でのお問い合わせにはお答え致しかねますのでご了承ください。(FAX 075-752-4015)

芝蘭会事務局
事務局長 山田 均
総務課長 秋山和美
管理課長 松本 惇

委員 斎藤信雄、岩田 征良、豊國伸哉、山田 圭介、園部 誠、阿部 恵
芝蘭会雑誌部
顧問 中尾一和
部 員 植木一仁、武井 玲生仁、水野裕基、福永 有伸、畑玲央(以上6回生)
合田直樹、福田宗寛、勝 島将夫(以上5回生)
橋本健太郎、中村有輝、山田直生、畑野翔太郎、前田峻宏、宗宮伸弥、柳 井谷駿史(以上4回生)
真辺諄、森山太陽、鶴田 将史(以上2回生)